

## 各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

< 29 年度の取組み >

**大阪急性期・総合医療センター**

大阪府市共同 住吉母子医療センターについて、整備が完了し、平成 30 年 4 月よりオープン  
2011 年 8 月に導入した Hybrid ER について、重症外傷の死亡率改善に関する論文が米国外科学会公式機関紙「Annals of Surgery」誌に掲載  
心臓リハビリテーションについて、リハビリパス導入などによる運用改善  
(心臓リハビリテーション実施単位数:平成 29 年度 33,392 単位、前年度 25,484 単位)  
がん医療の質とがん患者の QOL(生活の質)を向上するため、がんリハビリテーションの推進  
(がんリハビリテーション実施件数 29 年度 957 件 [28 年度 870 件])

**大阪はびきの医療センター**

呼吸器内科を標榜科として救急告示病院となり、救急患者の受入れを開始  
アレルギー疾患への対応を強化するため、耳鼻咽喉科を開設  
複数診療科が連携し、アレルギー疾患に対する専門医療の提供  
(重症アトピー性皮膚炎患者に対する処置件数 29 年度 11,174 件 [28 年度 9,524 件])

**大阪精神医療センター**

「依存症治療推進センター」を設置し、薬物・アルコール・ギャンブルの依存症に対する治療プログラムの運用及び効果検証  
医療型障がい児入所施設として、発達障がいの確定診断を実施  
(発達障がい診断初診件数 29 年度 237 件 [28 年度 252 件])  
関係機関との連携による多職種での訪問看護の実施  
(訪問看護実施件数 29 年度 5,083 件 [28 年度 5,152 件])

**大阪国際がんセンター**

難治がん・高度進行がん・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施  
(手術実施件数 29 年度 3,929 件 [28 年度 3,390 件])  
患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施  
(EMR 内視鏡的粘膜切除術 29 年度 1,324 件 [28 年度 1,079 件])  
大手前病院との間において、診療データ相互閲覧システムを活用した医療情報共有体制を整備

**大阪母子医療センター**

新生児や胎児に対する手術などの高度専門医療の提供  
(手術実施件数 29 年度 4,447 件 [28 年度 4,421 件])  
総合周産期母子医療センターとして安定的な周産期医療を提供  
(新生児緊急搬送受入件数 29 年度 95 件 [28 年度 89 件])  
妊産婦や小児の疾患に関する新しい診断や治療方法の研究開発  
(国際学術誌発表論文 29 年度 45 件 [28 年度 36 件])